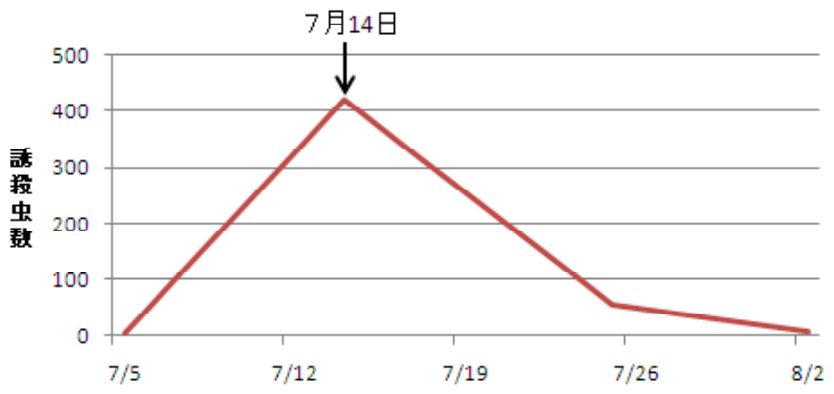


# フジコナカイガラムシ情報（カキ）第2号

2011年8月5日  
島根県病害虫防除所

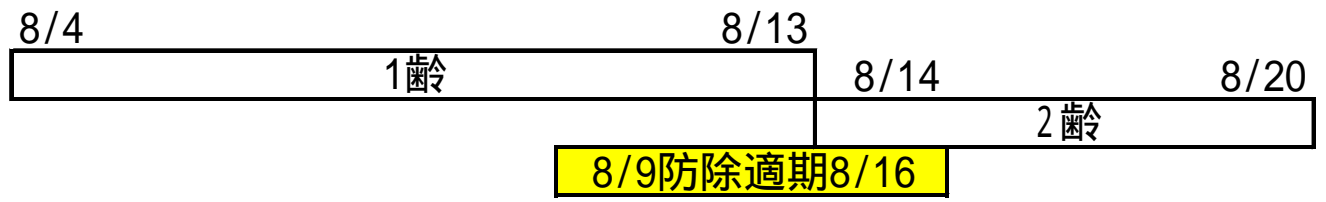
防除対象：フジコナカイガラムシ（カキ）第2世代若齢幼虫期  
予想防除適期：8月9日～8月16日（8月5日計算）  
対象地区：出雲市（県西部は出雲市の予測より4～5日早くなります）

予測の根拠：フェロモントラップを出雲市東福町のカキ園に4月6日から設置しフジコナカイガラムシの第1世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数のピークは7月14日に認められた。



フジコナカイガラムシ性フェロモントラップによる雄成虫発消長

誘殺数のピークである7月14日を起点とし平均気温（8月3日までは2011年の気温、それ以後は平年値）を用いて次世代（第2世代）の発生時期を予測すると1齢期8月4日～8月13日、2齢期8月14日～8月20日となり、防除適期は8月9日～8月16日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシ防除の防除時期は若齢幼虫期（1齢～2齢）とされている。そこで、フジコナカイガラムシの性フェロモンによる発生状況と発育データを使って第2世代の幼虫発生時期を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も引き続き雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。

なお、この予測は県西部では4～5日早くなります。また、一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。